



65

ふじわらにこい もり 富士原憩の森

群馬県館林市大字小桑原字富士原前

館林市は、群馬県の最東南端に位置し、赤城、榛名、妙義の上毛三山や男体山を主峰とする山々を望むことができる。つつじの名所としても知られている。東毛の中核都市を形成している。〔文化・観光〕県立つつじが岡公園、青龍山茂林寺、野鳥の森、館林まつり（7月）、七夕まつり（8月）、緑化フェスティバル（10月）

館林市では近年の急速な都市化により、郊外の平地林が次々と開発され、失われている。

当地は付近で唯一残された森であり、地域住民の危機感も強くこの森を残そうという気運も高く、さいわい土地所有者の好意により、整備を行うことができた。設計にあたっては、施設整備は必要最小限にとどめ、自然景観を損なわないよう配慮した。雑草が繁茂し荒廃した森だったが、地元住民が積極的に除草作業などに参加し、市と一体となって整備に取り組んだことにより、開園式も地元主催で行い、完成後の維持管理もすべて地元で行っている。

地元住民のみならず、他地区の住民も散策に訪れるなど、市民全体の憩いの森として親しまれている。

